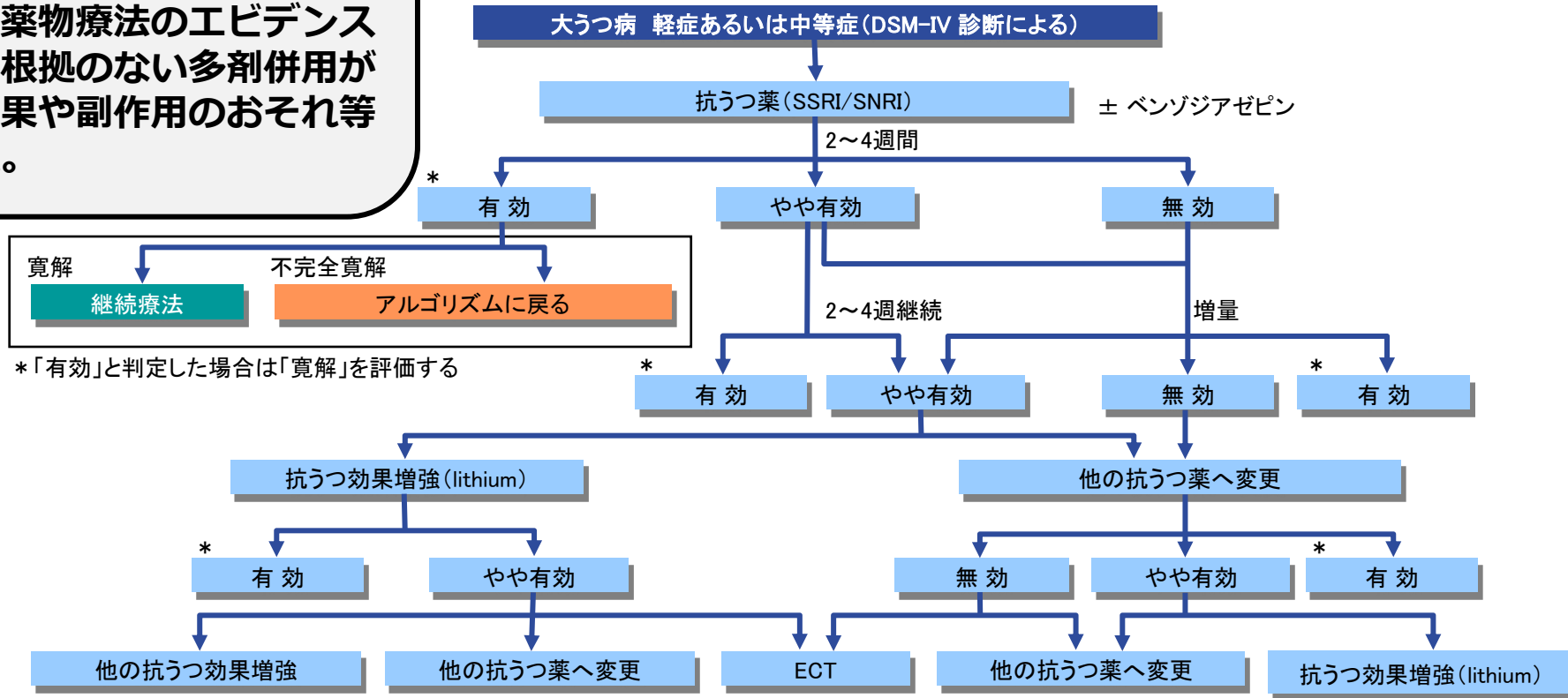


# うつ病（軽症・中等症）の治療アルゴリズム

（精神科薬物療法研究会：気分障害の薬物治療アルゴリズム．じほう，2003）

欧米のエビデンスに基づいて作成。単一の薬物療法だけでは、著効例は30～40%、最終的に寛解するのは6割前後（STAR\*D）。わが国では、薬物療法のエビデンスが不十分で、根拠のない多剤併用が多く、治療効果や副作用のおそれ等の面から課題。



軽症あるいは中等症のうつ病に対する第一選択薬はSSRIあるいはSNRIである。効果があらわれるまで少なくとも2週間程度を要するため、その間の不安や焦燥に対処するために、ベンゾジアゼピン系抗不安薬を併用することもある。